

令和3年度 事業報告書

(1) 職員について

管理者	1名	機能訓練指導員 (OT)	2名	保育士	1名
児童指導員	1名	指導員	2名	計	7名

(2) 職員採用退職

(採用) 指導員 2名

(異動) 作業療法士 1名 理学療法士 1名 保育士 1名

(3) 各種会議

- ① 事業部会議：毎月15日開催。各店舗の管理者が参加。売上新規受け入れ状況、サービス提供における課題、制度改定に伴う対応等を協議。
- ② 個別支援会議：9月、3月開催。利用児童の現状や課題を共有し目標を協議。
- ③ 担当者会議：相談支援員、他事業所を含め利用児の状況、目標を協議。
- ④ スタッフミーティング：不定期開催。予定等の共有と役割分担を協議。

(4) 定員及び利用児数(月次表)

定員：10名/日

らいく	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3
登録数(未就)	37	40	41	42	44	46	33	33	35	37	38	38
未就学児延	119	132	151	146	155	157	102	110	113	94	105	119
未就学児1日平均	4.58	5.08	5.81	5.41	6.2	6.04	3.92	4.23	4.52	3.92	4.38	4.41
登録数(就学)	69	69	69	70	69	69	51	51	51	52	52	52
就学児延	146	145	145	143	114	122	120	115	105	94	96	115
就学児1日平均	5.62	5.58	5.58	5.3	4.56	4.69	4.62	4.42	4.2	3.92	4	4.26
登録者計	106	109	110	112	113	115	84	84	86	89	90	90
登録者延	265	277	296	289	269	279	222	225	218	188	201	234
一日平均	10.19	10.65	11.38	10.7	10.76	10.73	8.54	8.65	8.72	7.83	8.38	8.67

(5) 療育について

1) 療育理念

らいくでは発達に特性があり、ご家庭や友達関係、保育園や小学校等地域の集団生活の場面で適応が難しいお子様に対して特性に合わせた個別療育や集団療育を提供します。お子様にとって「自己実現できる場」「楽しい場」「落ち着く場」「チャレンジする場」「仲間づくりの場」であり、ご家族にとっては「子どもの成長を楽しむ場」「相談できる場」になることを目指していきます。

2) 療育目標

らいくで療育を行うことで、お子様が日常生活や地域の集団生活の場において落ち着いて過ごせるようになる。保護者様にとっては相談出来る場所、子どもの成長を実感してもらうことで気持ちに余裕をもって子育てが出来るようになる。

3) 療育実践内容

児童発達支援

発達検査等を用い児童の特性を把握し必要な療育を提供する。

専門職による運動療法を取り入れ体の使い方の基礎を学び日常生活での自立を促し自分で出来ることを増やしていく。

保護者に対しては相談の受付、またお子様の状態の把握やかかわり方などペアレントトレーニングをおこなうことで日常をおだやかに過ごしてもらおう。

放課後等デイサービス

自己評価を行い自身で年間目標を立て、それをもとに活動を一緒に取り組む。

ソーシャルスキルトレーニング等を用い訓練することで集団でのトラブルをなくせる様にする。

一年間の評価

らいくで療育をすることで集団への参加や、他者とのトラブルが減り地域で落ち着いて過ごせるようになっている。利用児、スタッフ共に大きな怪我がなく運用が出来た。

保護者に送迎見学してもらうことで、普段見られないお子様の状態を把握してもらい療育の必要性や関わり方の理解につなげることも出来た。

3月時点での保護者アンケートでも満足度は高く、利用児も楽しみにしているという意見がほとんどだった。

課題としてはコロナの為地域との連携が取れなかったことで、今後コロナ禍でも地域と連携する方法を模索していく。

(6) 給食：提供無し

(7) 健康管理

利用児：利用前の手洗い、体温計測及び保護者様より体調の聞き取り。

時間短縮による利用者同士間の接触をなくす。

職員：出勤前の体温計測。定期健康診断。各種予防接種。

発熱時はクリニックを受診し指示を仰ぐ。

共通：マスク・ゴーグルの着用。オゾン発生装置、オゾン精製装置による空間及び道具の殺菌。湿度管理。換気。

(8) 非常災害危険防止等防災訓練の実践状況

4月1日避難訓練実施

実施内容：過去の避難訓練の記録を共有。消火機器の場所、避難経路を確認。

(9) ヒヤリハット・事故報告（別紙）

- ・ヒヤリハット 1 件
- ・事故報告 0 件

(10) 新型コロナウイルス感染報告

- ・感染者数 利用児：5 名
スタッフ：0 名
- ・休業について→なし
- ・保護者への対応について：日常の体調管理、来所前の体温チェックなどの感染症対策を徹底してもらうことでコロナ発生時も早期に連絡をいただくなどができ、休業することがなく営業が出来た。

(11) 研修・職員育成

令和3年度研修					
月日	時間	研修名	講師等	場所	受講者
4月22日	17：30～ 19：00	接遇研修	小笠原靖治	飯塚店	平川
6月18日		事故対応、 リスクマネジメント		動画	全スタッフ
7月20日	17：30～ 18：30	新型コロナウイルス感染症 について		zoom	
8月19日		運営研修 「身体拘束、虐待防止」		動画	全スタッフ
1月14日	21：00～ 23：00	感覚統合の理論とその実践		zoom	平川
1月27日		職場におけるハラスメント	國武先生	zoom	平川
1月28日	19：00～ 21：00	学校作業療法「OTが学校教育 に関わる意義」	仲間知穂	zoom	園、山本
2月 7日、8日	9：00～ 17：30	強度行動障がい支援者養成 研修基礎研修		zoom	山本
2月11日	13：30～ 15：30	子どもの人権と合理的配慮	後藤富和	イイツカコミュニ ティセンター	園
2月 12日、13日	9：00～ 17：31	強度行動障がい支援者養成 研修実践研修		zoom	山本
3月15日	12：00～ 17：30	児童発達支援管理責任者意 思決定支援研修		zoom	平川
3月10日		らそうむ運営研修 「人権研修」		動画	全スタッフ

(12) 年間行事・デイリープログラム

年間行事		
開催月	行事（予定）	実施状況
4月	屋外活動（虫や花を探す）	屋外にて昆虫を探したり、花や葉を探し押し花を作る。
5月	制作（鯉のぼり）	画用紙にて製作（年齢に応じて製作方法を変更）
6月	制作（アジサイ時計）	画用紙を編み込みアジサイ模様にした土台で時計を作成。
7月		
8月		
9月	（キャンプ）	小学校高学年以上を対象としたキャンプを企画。コロナの為中止。
10月		
11月		
12月	制作（クリスマスツリー）	飛び出す絵本風のクリスマスツリーを作成。
1月	書初め	自由に書初め。今年の目標や絵を描く。
2月	（クッキング）	クッキング。コロナの為中止。
3月	修了式	終了児童へ修了式を行い修了証書を渡す。

1日利用状況（流れ）		
9:30～	児童 1	児童 2
10:20		
10:30～	児童 3	児童 4
11:20		
13:00～	児童 5	児童 6
13:50		
14:00～	児童 7	児童 8
14:50		
15:00～	児童 9	児童10
15:50		
16:00～	放課後 1	放課後 3
16:50	放課後 2	
17:00～	放課後 4	放課後 5
17:50		

利用児 タイムスケジュール	
児童 1（年中）	
9:30	挨拶、写真を用いて活動説明
9:35	運動活動
9:55	机上活動（パズルなど）
10:15	自由時間。保護者へのフィードバック
10:20	終わりの挨拶
児童 2（年長）	
9:30	挨拶、ひらがな表記で活動提示・説明
9:35	机上活動（プリント課題等）
9:55	運動活動
10:15	自由時間。保護者へのフィードバック
10:20	終わりの挨拶
放課後 1	
16:00	挨拶、活動決め
16:05	机上活動（SSTなど）
16:25	運動活動
16:45	自由時間。保護者へのフィードバック
16:50	振り返り。終わりの挨拶。

(13) 新たな取り組み

- ・令和 3 年 9 月放課後等デイサービスの利用児を対象としたキャンプを企画立案したが新型コロナウイルス感染防止の為中止とした。
- ・コロナの為、保育園等との連携が難しいという課題があり、新たな取り組みとして FAX 等での連携方法を計画し、令和 4 年 4 月から実行中。

(14) その他

① 実習生の受入

リハビリ養成校 1校1名